

福岡市の「博多大丸」がアンバサダー

延岡市が認定 特産品、観光を情報発信

延岡市は、九州の魅力を紹介する九州探検隊プロジェクトに取り組み百貨店「博多大丸」(福岡市中
央区、柚木和代社長)を、情報発信アンバサダー(大使)に認定した。13日、同市役所で認定式が行
われ、読谷山洋司市長と高田徹取締役が認定書に署名した。



延岡市と博多大丸との情報発信アンバサダー認定式(13日、延岡市役所)

同プロジェクトは、地
域に根ざす百貨店とし
て、九州の知られていな
い特産品や工芸品、伝統
文化などを行政と一緒に
発掘、広く顧客に紹介す
ることで、九州全体の活
性化への貢献を目指す取
り組み。博多大丸が創業
65周年事業として昨年6
月から始めた。
アンバサダー認定で連

携する市から情報提供を
受けた特産品などについ
ては、同社のバイヤーや
マネジャーらが現地で見
るなどし、九州の良い物
を売り場や全館プロモー

どで販売、ホームページ
などの情報発信を通じ、
観光も含めてPRする。
同社によると、九州1
19市を訪問。延岡市に
は今年1月に企画を提案
し、4月下旬に認定実施
の連絡を受けた。認定は
九州では29市目、県内は
宮崎市、都城市に次いで
3番目。隣の大分県佐伯
市とも認定書を交わして
いる。

海の幸、山の幸、川の幸
に恵まれ、福岡の方が知
らない未知の宝物がたく
さんある。九州内外の人
に知ってもらえるよう、
自信を持って紹介した
い。高田取締役は「延岡
市の情報を店頭展開を通
じてしっかり発信し、そ
れを見たお客さまが延岡
市に足を運んでもらえる
流れをつくりたい」と話
していた。